

べっぴ 市議会だより

No.73 平成 17 年 11 月 1 日

編集 議会報・HP運営委員会
発行 別 府 市 議 会
住所 〒874-8511
別府市上野口町 1-15
TEL0977-21-1547
メール sec-cc@city.beppu.lg.jp



平成 17 年 8 月 2 日に行われた第 3 回べっぴ子ども市議会

九月定例会

会期の経過

- 九月五日 議会運営委員会
- 七日 本会議（議案上程、提案理由の説明）
- 九日 本会議（議案質疑・委員会付託）
- 十三日 本会議（一般質問）
- 十四日 本会議（一般質問）
- 十五日 本会議（一般質問）
- 十六日 各常任委員会
- 二十二日 議会運営委員会
本会議（上程中の全議案に対する委員長報告、討論、表決）

主な内容

- 主な議決 … P 2～3
- 議案質疑 … P 4
- 一般質問 … P 5～10
- 特 集 … P11～12



9 月 定 例 議 会 風 景

主な議決

九月定例会では、補正予算や条例案件など十四件の議案が上程され、市長の提案説明に対する質疑の後、所管の常任委員会へ付託されました。これらの議案は、最終日に所管の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ、二件について一件は修正可決、一件は継続審査、その他の議案は原案のとおり認定・可決・承認されました。

続いて市長から教育委員の任命につき議会の同意を求めることについてなど十件の人事案件が追加提案され、原案のとおり同意されました。

補正予算

◎ 平成十七年度一般会計補正予算 (修正可決)

今回の補正予算は、厳しい財政状況の中、制度改正及び本年度の事業進捗に伴う追加額を中心に編成している。

初めに、一般会計補正予算として、今回補正する額は、六億一千六百七十万円であり、これを既決予算に加えると、総額三百八十四億八千五百三十万円となる。

総務費では、平成十五年度に後年度事業財源の影響緩和のため創設した「別府市職員退職手当基金」及び地方財政法第

朝倉 斉 議員 逝去



去る八月十五日、朝倉 斉議員(自民党市民クラブ)が逝去されました。

昭和五十年四月から連続八期三十年にわたり議員を勤められました。生前の功績により、叙位・叙勲(従五位旭日小綬章)を受章されました。

ここに、生前の面影を偲び安らかなるご冥福をお祈りいたします。

七条の規定による「別府市財政調整基金」への積立額を予算計上している。

また、株式会社別府扇山ゴルフ場の預託金返還期における経費増大に伴う破産の回避及び存続・再建を図るため、必要な資金を別府市が支援するための予算を計上している。

衛生費では、ごみ収集業務民間委託計画推進のための調査費を当初予算に計上しているが、委託後のサービス維持向上を図るため、業務管理システムの導入経費を予算計上している。

農林水産業費では、古賀原地区の営農飲雑用水施設の老朽化が著しいため、施設改修に係る経費を予算計上している。

観光費では、著名なジャズピアニストである穂吉敏子さんの渡米五十周年記念コンサートが音楽活動スタートの地である本市において開催されることとなり、その実行委員会への補助金を計上している。

また、総務省の地域通貨モデルシステム普及支援事業による本市でのまちづくりのツールとしての実証実験に伴う経費、市内外から五万人もの鑑賞者が訪れる大きな観光資源である神楽女湖に關し、花菖蒲の安定育成を図るための水源調査費を予算計上している。

土木費では、鉄輪温泉地区の事業進捗に伴い、用地の早期取得及び地元受入協議会との協議により、石畳での美装化等、観光面で一層寄与できる施工内容とするための追加額を計上している。

また、新野球場建設に先立ち、実相寺中央公園内道路の整備に着工するが、周辺地区住民や関係機関との協議の結果、児童等の安全面から歩道と車道を分離することとなったので、その追加額を計上しているとの市長提案理由に対し、株式会社別府扇山ゴルフ場に対する預託金貸付について、

一、預託金者を中心に、別府ゴルフ倶楽部との協議がなされていないこと。

一、担保物の担保価値や換価能力に問題があること。

一、ゴルフ場の公共性やゴルフ場と福祉増進とが直接的に結びつかないこと。

一、経営破綻状況にある株式会社への公金貸付けは、地方財政法上問題があると

思われること。

一、全国的にゴルフ場利用者が減少している状況で、扇山ゴルフ場の再建の見通しがきわめてむづかしく、別府市がその再建に貸付けを行うこと自体に疑義があること。

一、今回の議案提出にあたり、議長名において正式に「株式会社別府扇山ゴルフ場」に対して資料の要求をしたにもかかわらず、二度にわたりこの要求を拒否し、誠意ある態度が示されなかったことが、議会審議に大きな影響を及ぼし十分な判断ができなかったこと。

等々により扇山ゴルフ場の支援に関する予算部分を減額し、（支出を認めない）平成十七年度一般会計補正予算案は修正可決されました。

◎ 平成十七年別府市各特別会計補正予算（原案可決）

特別会計補正予算として、今回補正する額は、三千九十四万五千円を減額するものであり、これを既決予算に加えると、総額五百四十六億三千四百三十七万円となる。

温泉事業特別会計及び湯都ピア浜脇事業特別会計では、平成十八年度からの指定管理者制度への移行に伴う施設改修費を計上している。

介護保険事業特別会計では、介護保険制度の改正により本年度十月から施設介護サービスの食費や住居費が個人負担となることとなり、これに伴い減額が見込まれるもの及びその負担軽減のために必要な追加分の経費を計上している。

条例の一部改正

◎ 別府市奨学金に関する条例の一部改正について（原案可決）

◎ 別府市公設地方卸売市場条例の一部改正について（原案可決）

◎ 別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について（原案可決）

◎ 別府市消防団員等公務災害補償条例及び別府市水防協議会条例の一部改正について（原案可決）

条例の制定

◎ 別府市住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定について（原案可決）

住民基本台帳カードに地域通貨の利用に供するサービスを付与することに伴い、条例を制定しようとするものです。

◎ 別府市営農飲雑用水施設の設置及び管理に関する条例の制定について（原案可決）

別府市古賀原地区の営農用水等に集落雑用水等を供給し、生活基盤の整備を図るために、条例を制定しようとするものです。

決算

◎ 平成十六年度別府市水道事業会計決

算の認定及び平成十六年度別府市水道事業剰余金の処分について（認定・可決）
◎ 平成十六年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成十六年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について（継続審査）

九月十五日、決算特別委員会が設置され、決算の認定については、閉会中も継続して審査しようとするものです。

（◎委員長○副委員長）

◎清成 宣明 ○松川 峰生

国実 久夫 萩野 忠好

池田 康雄 野田 紀子

高橋美智子 岩男 三男

村田 政弘

その他の

◎市長専決処分について（承認）

人事

次の人が、九月二十二日の本会議において、それぞれの委員に任命等の同意がなされました。

○ 別府市教育委員会委員

郷司 義明氏（新任）

高橋 護氏（再任）

福島 知克氏（新任）

○ 別府市固定資産評価審査委員会委員

桑原 寿一氏（再任）

恵良 寧氏（再任）

○ 別府市吏員懲戒審査委員会委員

松川 峰生議員（新任）

池田 康雄議員（新任）

清成 宣明議員（新任）

友永 哲男氏（再任）

亀山 勇氏（新任）

意見書

議員より意見書案5件が提出され、5件すべて可決されました。

可決された意見書は直ちに関係機関へ送付されました。

◇道路整備の促進と予算の確保に関する意見書（原案可決）

◇あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律及び関係法令の遵守を求める意見書（原案可決）

◇「リフォーム詐欺」から高齢者等を守るための対策強化を求める意見書（原案可決）

◇耐震化促進のための施策の拡充を求める意見書（原案可決）

◇アスベスト問題に関する意見書（原案可決）

案 疑 議 質

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。九月九日に七名の議員が行いましたが、そのうち、主な質疑内容を掲載します。

扇山ゴルフ場 について

問 今議会の議案の中に予算額で一億六千四百万円、そして債務負担行為で四億三千六百万円が計上されているが、なぜ今の時期に一括して六億という金額を計上したのか説明願いたい。

答 六億円の算出根拠ですが、これは二百七十三件の返還額二百万円を返還した場合は五億四千六百万円、それに最小限の維持改修費を含めて約六億円の支援となる。この債務負担行為については、次年度以降の財政負担を示すものであり、長期にわたるゴルフ場の再建を確実に進めるためには、支援事業の費用負担を明

確にする必要があるので、次年度以降の負担について債務負担行為という形で計上した。この預託金は全員の分の半額というのが五億四千六百万円である。そのため全員の皆さんにお話をしなければならぬ。そのためには今年度中に全員の皆さんにお話をし合意を取り付ける必要があると思う。債務負担行為を確定していなければ、今年度の分だけを皆さんにお話するというわけにはいかない。

ので、全員同じような取り扱いをするために後年度以降の分についても二百万円をお願いしたいということで御了承いただいて、これが合意をいただければ、また議会での承認がいただければということと提案したので、そのところを御理解のほどをお願いしたい。

問 今まで扇山ゴルフ場は別府市に



扇山ゴルフ場のクラブハウス

貢献していると、全員協議会で説明があったが、具体的に別府市に貢献している金額を提示願いたい。

答 ゴルフ場利用税交付金、土地賃付料、固定資産税、法人市民税及び個人市民税があり、最近十年間で約五億二千万円、平成十六年度でも四千万円程度の収入となっている。また調査数値はないが、観光経済面での波及効果も大いに考えられる。

問 預託金返還の問題は早期に解決しなければ返済時期が近くなるにつれて混乱が大きくなるということをこれまで言ってきた。扇山ゴルフ場の役員等は預託者に対して、経営状況や預託金返還計画の開示が必要であったと思うが、このような説明責任に対してどのように考えているの

か説明願いたい。

答 預託者に対しての説明責任であるが、今回の支援については、これは取締役会の中でこの問題が何度か議論されたところである。扇山ゴルフ場独自で支払うことができないので、最終的には別府市に支援をお願いする方向で推移していったところである。

今回の支援要請については、償却前黒字が本年度見込めることから、今回の支援策を打ち出したわけであり、これについてもまだ議会の承認などを得られなければ、説明するということもできないと考えており、またこの議会の結果を待って取締役会に諮って、扇山の方針というものを打ち出して預託者の皆様にお話をさせていただくというような考えである。

傍聴のご案内

- ◆ 本会議はどなたでも傍聴できます。
- ◆ お気軽に議会棟四階へお越し下さい。
- ◆ 傍聴席は八十席あり、車椅子席も七台分用意されています。
- ◆ 次の定例会は十二月上旬を予定しています。

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。

九月十三日から十五日までの三日間十八名の議員が市当局の見解をたきました。
主な内容は次のとおりです。

扇山ゴルフ場問題とマツクイ虫対策

公明党 岩男 三男議員

問 別府市が五十一%を出資する第三セクターの株別府扇山ゴルフ場に六億円を上限として貸付を行い、貸付金は会員預託金の返還に充てるといいますが、地方債を借り受けてまで救済することは市民の理解を得られるものではない。この議案は取り下げて、市民の目線に立った対応をすべきで、市は手を引いて民事再生法か会社更生法で再出発すべきだ。市民に後年度負担を押しつけるような議案は取り下げよ。

答 扇山ゴルフ場は、市直営でやっていたという経緯や市が五十一%出資の第三セクターであること。さらに会員

に迷惑をかけることなど、総合的に判断して議会に上程した。

問 扇山ゴルフ場全体が赤茶けて松の木が枯れて見るも無惨だ。百本、二百本それ以上にマツクイ虫にやられている。除去作業をしているのか。被害は竹の内・小倉まで広がり民家の松の木まで枯れている。処分するには一本三万円かかると聞く。市は六億円支援する理由の中で市民や利用者の健康管理をあげているが、被害が拡大し別府公園まで来る心配がある。松の管理も出来ずゴルフ場の管理が出来るのか。

答 被害は五百本と聞いている。松の管理も扇山ゴルフ場がしているが被害がひどく追いつかない。別府市の貴重な緑であり全体にかかわる。早急に関係団体に協力を求め対応する。

ゴルフ場の公的支援は法律違反では

行財政改革クラブ

泉 武弘議員

問 ゴルフ場の経営破綻を招いたことは、代表取締役を務める市長や取締役の責任は大きいものがある。クラブハウスの建設の決定、その建設費など判断を誤ったと指摘されても仕方ない。それにもまして四百万円預かっていながら返済の措置をこの十年間していないことは、預託者に対する背任・詐欺ではないのか。地方財政法で、倒産状態の会社に公金を投入することは禁止されている。ゴルフ場の経営失敗の責任



扇山ゴルフ場のコース遠景

を市民に転嫁しないで欲しい。支援要請も取締役会の決議を得ておらず商法違反である。今回の支援要請は「会社としては再建の努力をしたが議会が否決した」と演出して経営責任から目をそらすものではないのか、今厳しく問われているのは経営能力の問題であることを自覚して欲しい。

答 取締役会の決議はないが、一定の方向が出たので支援要請をした、経営責任については現段階では総括していない。

指定管理者制度と扇山ゴルフ場問題

自民党清新会

野口 哲男議員

問 指定管理者制度の募集にあたり目的として、サービスの向上、経費の削減を図りONSENツーリズムの振興を図るとある。利用者を増加させ企業経営として利益を生む温泉医療・エステ等の導入が実施できる設備投資が可能な指定管理者制度とすべきではないのか。また温泉施設の起債残高も本年度で終了するものについて、より明確な民間活力の活用のため売却も検討すべきではないか。

答 公の施設としての制限もあるが、利用者の便宜に資する売店や食堂等の

設置は可能で、経営重視型の温泉施設については計画に沿った事業が安定的に行えるよう考えている。また施設の売却については観光振興等温泉活用的一面から検討したい。

問 扇山ゴルフ場預託金支払いのため六億円の貸付については、経営責任が不明確、預託金支払い減額も未賛同、経営計画も明確に示されない。このままでは償還不能で市税の投入は避けられず、整理し民間に委ねて再生を図るべきではないのか。

答 預託金の支払いが出来れば、現経営陣でも再建は可能と考えており、今後十七年間の分割償還は達成されると考えるので、ご理解とご協力をお願いしたい。

アスベスト問題と 扇山ゴルフ場問題

自民党市民クラブ

村田 政弘議員

問 最近急にアスベスト問題がやかましくなったが、私は終戦前北海道の富良野市の隣の山部というところで日本一の蛇紋岩の石綿採掘場で働いていた経験を説明し、石綿には角閃石と蛇紋岩の二つの種類があり、その性質が全く違うことを説明した。ただ当時は軍用重要物資で増産増産を唱え、発ガン

性など全く言われていなかった。現在において建築基準法の指導で使用しているのは、何らかの補償があるのか質した。

次に問題の扇山ゴルフ場が破産状態にあり、最大の株主の別府市に六億円を限度として十五年間の借り入れを要望され、これに応ずるための議案が提案されたことについて、これは元を正せば前市長が平成七年から九年にかけて扇山ゴルフ場のクラブハウスを約十二億円をかけて建て替えるにあたって、預託金の名目でゴルフアーに一人四百万円をお願いし集めた金の返済期が今年の十月から始まるわけだが、ゴルフ場は運営資金にも事欠き返済どころではない。民間だったらとくに倒産状態であり、返済の引当金準備も全くしていない。入場者は近年、毎年二千人近く減少しこれという名案もないし、自治体がかかわることが裏目に出てどうしようもないので、いつそのことと民事再生の方法しかない。市民の税金は投入すべきではない。

旧南小学校 跡地について

自民党清新会

萩野 忠好議員

問 旧南小学校跡地利用については、

二年半にもなるのに一回も市と地域の話をした事を聞いていない。別府市はどの様に考えているのか。

答 本年四月一日の機構改革により、市有財産の有効活用を図るため財産活用課となったわけであり、遊休市有地の活用が急がれているという事で、旧南小学校跡地庁内検討委員会を設置したところです。

問 私が過去質問したのは、すぐに跡地利用が決まると思わなかったもので、決まるまでの間いろいろな団体を募集して、貸したらどうかと勧めたが駄目だと言われた。しかし現在利用されていると聞いたが、どこの団体が利用しているのか。

答 市総合教育センターが入居し、不登校児童・生徒対策を行っている。

問 行政内部で検討しているというが、なぜ地域住民や市民に、どの様に跡地の活性化をしたらよいか、状況説明を早く行わないのか。行政内部で考えたものを強引に押しつけて行く考えはよくないと思う。

答 行政としての活用案を各部・各課から出していただき検討している。決して行政の考えを押しつけるために検討委員会を設置したものではない。

問 早急に、別府市の将来をどの様に市民が思っているのか聞いて欲しい。

答 今後市民の意見を求めていく場合

は、優先順位も含めお聞きする必要があります。

問 旧南小学校跡地についてどうするという回答の期日はいつですか。

答 平成十七年度内には回答したい。

職員の採用、 臨時職員の嘱託化

社民・市民の声連合

麻生 健議員



現在、正規職員・嘱託職員・臨時職員で対応している市民課窓口

問 平成十九年度から団塊の世代の大量退職が始まるが、それに対応する職員の採用計画及びその職員不足に対して臨時職員の嘱託化について、市としての考えをお聞きたい。

答 平成十九年度から二十一年度まで

の三年間で百八十人が退職するが、今年度から二十二年度までの六年間で三百十三人が定年退職し、加えて毎年勲奨退職者が十五人、二十人いるので、今後六年間の退職者は四百人近くとなるが、第二次行政改革大綱等もあり慎重に対応していきたい。しかし、指摘のとおり住民サービスが低下しないように最大限の努力をいたしたい。また退職者の完全補充は難しいが、現在平成十九年度を目途に大幅な機構改革の計画を予定しており、これにあわせて臨時職員がせつかく覚えた仕事を生かせるように嘱託化を図り、退職者の経験を生かせる再任用制度や複数年に及ぶ事業等に就事していただく任期付職員制度の導入も検討したい。また併せて県下の他都市に比較して決して恵まれているとはいえない臨時職員の賃金についても、改善に向けて努力したいと考えております。

別府屋台村の可能性について

自民党清新会

長野 恭紘議員

問 私は昨年大晦日の第一回屋台村から実行委員会のメンバーとして参加し、今回夏の宵まつりでの第二回屋台村にも参加した。若手経営者の方々が

中心となつて一生懸命、手づくりで屋台を作り、計画を立て、それを行政が全面的に支援するという理想的な一つのイベントであつたと思う。過去二度の屋台村開催状況と、結果を見てどの様に評価しているのか。また今後、常設での屋台村を作りたいという若手の方々の声があるが、その為には保健所や土地、上下水道など様々な問題がある。今後も行政の全面的な支援をお願いしたいがどの様に考えるか。

答 昨年大晦日の第一回は夕方から夜にかけて約三千人、第二回は三日間で約一万二千人が訪れたと聞いている。大晦日のイベントについては屋台文化再生の糸口となり、今年の夏の宵まつりへと結びついたと思います。夏の宵まつりではワイワイ市と連動して大変すばらしいものとなつたと考えている。常設の屋台村については私（市長）の夢でもある。今後、さらに研究して官民挙げて実現できるように努力して参りたいと考えています。

津波が来ても避難場所まで行けません

社民・市民の声連合

高橋美智子議員

問 八月二十八日の総合防災訓練について、津波対策も含まれると言うこと



先日の台風14号の際、高潮で付近一帯が冠水した浜町の藤助橋（とうすけばし）

ですが、国道十号線より東側の住民達は避難場所のサザンクロスまで行くことが困難な人たち（高齢者や病人など）が多くいます。この人達にとつてせめて一番高くて安心（耐震性のある高い建物）と思われるGホテルについて避難することが市の働きで出来ないものでしょうか。

答 国の方でも、津波避難ビルの指針を策定しているところです。近くに避難場所のない地域については今後、指針の内容を検討して進めていきたいと考えています。

問 地震や津波はいつ来るかわからないのですから急いで計画を立ててください。自助努力ではどうしようも出来

ないことを、行政がしっかりサポートしていただきたい。特に高齢者や障害を持つている弱い立場の人たちの声を聞いて、安心の出来る計画をお願いします。地域の人たちの隣組で出来ることとして、避難する際に、隣の人に声をかけると言うことを私たちの組では話し合いました。防災訓練の総括に市民の声を、アンケートや調査などで取り入れて今後に生かしてください。

小・中学校の納税義務教育について

自民党清新会

松川 峰生議員

問 別府市の市税滞納額は、平成十六年度で約十九億八千万円で、十五年度と比較し約七千万円増加している。毎年、市税特別滞納整理対策本部を設置し、徴収にあたっているのが現状で、滞納者には、納税することが国民の義務であることの周知徹底を図ることが必要であり、日々暮らしの中で、税との関わりあいのある租税教育を小・中学校時にしっかりと行うべきではないかと思うが教育委員会の考えはどうか。

答 最近の「税」を取り巻く環境は、国際化・高度情報化の進展、デフレ経済による税収の減少、少子高齢化の進

行など大きく変化しております。この様な時期に、将来を担う児童生徒に対して、「税」について関心を持たせ、その意義や役割を正しく認識させることは極めて重要なことであると考えております。教育委員会といたしましては、今後とも「税」は民主主義社会の基本であり、納税は国民の三大義務の一つであるということ、また、財政の健全化は今後の社会が直面する大きな問題であるという認識のもと、社会科における授業内容の充実、外部機関が主催する租税教育に積極的に参加し、各学校においても租税教育の充実に取り組むよう、指導・助言して参ります。

低所得者の医療費 減免制度の実現を

日本共産党議員団

平野 文活議員

問 国保法第四十四条にもとづき、低所得者に対する医療費の減免制度を別府市でも実施すべきでは。

答 県の助言も得て年末までには要綱を作り、来年四月から実施する。

問 禁止された駅前での客引き行為がまた復活している。厳重な監視とともに市条例を制定すべきだ。

答 監視活動再開等を協議し、根絶の

ために全力を尽くす。

問 子どもの読書活動の推進に関する法律にもとづく市の推進計画を急ぎ、学校図書館については蔵書の確保、エアカコンの設置、専任司書の配置などを実現すべきだ。

答 来年度には検討委員会を設置し年度末には推進計画策定の予定。エアカコンについては職員室等への設置終了後、図書室にも設置の方向で検討したい。

問 生産緑地制度を導入し市街地区域内農地の固定資産税の軽減を。

答 都市計画画では調和がとれており、今のところ生産緑地指定の必要はない。

「もったいない」 運動の定着化

社民・市民の声連合

田中 祐二議員

問 ごみの削減、再使用、再生利用の運動に取り組み環境分野で初めてノーベル平和賞を受賞したケニアのワンガリ・マタイ副環境相は平成十七年二月に来日し、日本には資源を有効に活用する言葉として「もったいない」という言葉があることが紹介され「国連婦人の地位向上委員会」で「もったいない」は消費削減、再使用、資源再利

用、修理を表していると解説し、その言葉を世界に広めようとしています。

これをきっかけに福島・神奈川・山形の三県が「もったいない」をキーワードにした環境キャンペーンを始めています。この様な取り組みをどう思うか。

答 昔の日本では、生活の中でものを大切に「もったいない」伝統が代々受け継がれてきましたが、戦後大量生産、消費の時代が訪れ「もったいない」という言葉も聞かれなくなりました。最近ようやく環境問題の取り組みの中で聞かれ、ものを大切にする、ごみの排出量を抑制する代名詞として使われる様になった。

問 今後は「もったいない運動」を別府市においても導入してはどうか。

答 「もったいない」という言葉には庶民文化の伝統と親しみ、ものに對するやさしさも感じます。導入について今後検討課題と考えています。

子育て支援・ 三十人学級の充実を

日本共産党議員団

猿渡 久子議員

問 私たちが児童館設立の署名運動を始めたのが十年前。当時、私は議員になる前で、児童館や子育て支援セン



西部地域の子育て支援拠点施設となる「ほっぺパーク」

ターは市内に一カ所もなかった。この間の子育て支援の経過と現状は。

答 現在、児童館は四カ所。各児童館の月平均利用者は二千四百人から三千八百人。子育て支援センター四カ所、ファミリーサポートセンター一カ所、放課後児童クラブは十八カ所。保育所の乳児保育・病後児保育なども充実してきた。公立保育所のクローラー設置は八十八%。また認可外保育園への助成も行っている。

問 ここ数年間で大変充実してきたため、「別府ですと子育てしたい」という若い母親の声を聞く。子どもが歩いていける所に児童館を、つどいの広場の実現、乳幼児医療費無料化の充実

など、今後さらに充実を。

答 平成二十一年までにつどいの広場を一カ所設置したい。児童館はその後の計画で協議したい。医療費無料化の拡大は県に強く要望する。

問 三十人学級の対象拡大・充実、「学校いきいきプラン」の充実を。

答 三十人学級の充実を国・県に要望する。幼稚園の三十人学級は来年度実施に向け最大限努力する。「いきいきプラン」の予算確保に努める。

防災防犯 対策について

公明党 原 克実議員

問 阪神淡路大震災から十年が経過。当時の死者の九割が家屋の倒壊での窒息・圧死といわれている。日本の住宅は四千七百万戸で、このうち千百五十万戸が耐震性が不十分と見られており、現場自治体の対策が不可欠であり市長の判断が極めて重要です。別府市として安心安全のまちづくりへの対応をたずねたい。

答 (環境安全課) 災害は風水害・地震・津波等それぞれの防災対策を定め、各防災関係機関と連携を密に、出来る限り被害を少なくして行く。

(建築指導課) 平成十一年度より二回、木造住宅の耐震診断を実施してお

り、現在までに百二十八棟が診断済です。

(教育総務課) 学校施設耐震化は七十五棟のうち十二棟で十六%。学校は災害時の避難場所になっており、今後関係各課と協議を進め早い時期に耐震化率を上げていく。

(消防本部) 大規模災害には消防署だけでは限界があり、消防団・自主防災会・消防支援ボランティアなどの協力が不可欠で、そのためには日頃より地域住民との協力体制を作り上げていく。

問 市内の学校では防犯対策として、防犯ブザーを貸与しているが、一年間で十数件の不審者に遭遇していると聞く。防犯ブザーの適切な活用に入力されるとともに、地域社会への防犯ブザーに対する意識を高める必要がある。また、消防署の女性消防団による独居老人への訪問活動を積極的に進め、防災と合わせ防犯対策を計画的に進めていく事を要望しておきたい。

文字・活字文化 振興の推進について

公明党 市原 隆生議員

問 言語能力を高めることは様々な教育の場面で大変重要であると感じているが、市内の学校における読書活動の



青山小学校での読書活動の様子

状況について伺いたい。

答 本年度は、市内の小学校では十三校において教育活動の一環として全校一斉の読書活動を実施している。ほとんどの学校で毎日、もしくは週に数回、始業前に時間を確保し、読み聞かせや読書をしている。また中学校では七校で、一・二年生を中心に、朝の授業前に読書活動を行っている。小学校、中学校とも、ここ数年積極的な取り組みが見られる。

問 読書活動によつてどのような成果が見られるようになったか。

答 小学校では「本に対する関心や読書意識が高まり、その結果、図書室の貸し出しが増えた」「高学年の子ども

が低学年の教室で読み聞かせをしたり、図書委員会等の活動が活発になり、本に親しもうとする雰囲気が高まってきた」との声が寄せられた。また、一般的に読書離れが進む時期に当たる中学生の間からも、「朝読書の時間がもつと欲しい」「本を読むことが楽しくなった」「本を読む習慣が出来て自分のためになっている」等の声が寄せられているという報告を受けている。

原点に立ち帰り 別府観光の浮揚を

自民党市民クラブ

清成 宣明議員

問 去る七月二十九日から八月十一日までの間、西日本医科大学四十四校、九千名、延べ四万人近くの宿泊を伴う七種目のスポーツ大会が開催されたが、我々議員を始め市民のほとんどが開催を全く知らなかった。また歓迎の横断幕もポスターさえもなく、スポーツ観光を柱とする別府市及び市民の対応はいかにも淋しかった。この原因は、担当各課の横の連絡、業界団体との調整不足など、「お客様をあたたく迎えよう」との市民憲章すら認識されていない現状をさらけ出したものである。機構改革がなされたわけで

あり今一度、原点に戻り意識改革をしないと別府観光の未来は築けないと考えるが、当局の考えはどうか。

答 全てのイベント、大会を観光に結びつけるとの認識のもと、組織体制充実を基本にONSENツーリズム局を立ち上げたものであり、スポーツに限らず福祉、教育、農林も含め各課との連絡を密にして、今後とも決意も新たに各種団体組織とも調整し、来別された全てのお客様に満足していただくよう努力します。

介護保険第三期 事業計画について

日本共産党議員団

野田 紀子議員

問 第三期事業計画の特徴と目的は。

答 特徴は高齢者の介護予防。自立支援、制度の持続を目的とし、施設給付の見直しや「地域密着型サービス」「地域包括支援センター」の創設等である。

問 介護は利用者と介護事業者との契約になり、高齢者の保健や福祉に対する行政の責任が大幅に後退した上、暮らしの実態すら、行政はつかまなくなっている。新予防給付で要支援と要介護度一の方へのサービスの制限、地域包括支援センターによる自治体の保

健機能の縮小等々を実施して、国が負担すべき高齢者福祉の財源を削減することが第三期介護保険事業計画の目的。施設給付の見直しは。

答 十月から施設入所者の居住費と食費、通所（デイサービスやデイケア）者の食費を介護保険の給付から外して利用者の個人負担にすること。

問 特養ホーム入所者の内、負担軽減がある方でも年間十八万円、軽減がない方では年間三十万円以上の負担増になる。通所の方には軽減は全くないので、月約七千円の負担増になる。個人負担できない高齢者は施設におれなくなったたり、通所回数減らすしかない。負担軽減策は。

答 実情を見ながら必要があれば、県を通じて国に軽減を要望したい。

保育所周辺道路に 安全対策を

社民・市民の声連合

池田 康雄議員

問 平成十四年・十五年度の二力年で市内小学校の周辺市道に児童の交通安全対策の為の道路標示を行ってきた。保育園は小学校に比してその所在がわかりにくく、比較的狭い道路に面している場所も少なくない。小学生児童と同様の目線で保育園児の交通事故対策



ほっぺパーク前の注意を促す道路表示

を講じるべきだと考えるが。

答 開設したばかりのほっぺパークには配慮はしたものの保育所周辺の安全対策は不十分だと認識している。今後県や庁内関係部署と積極的に協議をしていきたい。

問 扇山ゴルフ場は扇状に広がる市街地の要の位置にあり、眺望は素晴らしい。ゴルフ場のどのホールからも市街地と別府湾を眺めることのできるこのゴルフ場はその意味で全国でも誇るこのでできるゴルフ場であると聞く。しかし、今回の市からの扇山ゴルフ場への最大六億円の貸付問題はあまりに提案が粗雑である。市民や議員はその返済が焦げ付いた時の市の負担を危惧し

ている。だから議論の中心はその返済計画の是非にならなければならないのに、肝心な返済計画の詳細が示されていない。この様な提案の仕方では賛成できないと考える他にない。詳細な資料を提出するつもりはないのか。

議会報・ホームページ運営委員会は、今回の改選に伴い、次のとおり新しい委員が決まりました。

これからも、親しみのある「市議会だより」の紙面づくりに努めますのでよろしく願いいたします。



前列左より永井議長、市原委員長、嶋副委員長、堀本副議長、後列左より麻生委員、野田委員、清成委員

子ども市議会について

趣 旨

各小中学校の代表者が議員となって、自分たちの住んでいる別府の諸問題、未来について、自ら課題を見つけ自ら考え、模擬市議会を体験することにより、市議会の重要性とふるさと別府を愛することの大切さを学んでいただくとともに、子どもたちから出された真摯な提案や課題などを今後の市政運営に活用するために開会するものです。

参 加 者

- 子ども議員 各小学校高学年の代表者（16校×1名＝16名）、
各中学校の代表者 2名（8校×2名＝16名） 計32名
- 執 行 部 市長・助役・収入役・教育長・水道局長ほか各部長
- そ の 他 議長・副議長・子ども会を支える議員連盟議員・市子連会長・市P連会長・関係者

内 容

- 子ども議員の中から選出された議長、副議長が議事を進行する。
- 子ども議員が市執行部（市長ほか）に質問し、答弁を求める（一般質問）。
- 子ども議員が市に対して提言を行う。
- 「子ども宣言」を採択する。

「ふれあい町づくり別府」
子ども宣言

僕たちは今日、この子ども市議会で別府市の住民として、別府について真剣に考えました。

次の時代に生きていく人たちが住みやすい町をつくり、別府が誇る豊かな自然、伝統工芸の竹細工、別府市特有の温泉文化を守ることが何より大切だと思います。そして、市民全員が、また別府を訪れる観光客のみなさんが笑顔で過ごせるように、ここに次のことを約束し実行していくことを誓います。

1. 私達のふるさと別府について学び、伝統を守り、後生に伝えていきます。
2. 別府の温泉、緑を守り、自然を残すために環境保護に努めていきます。
3. 地域の住民とのつながりを深め、コミュニケーションを大切にし、明るい町づくりに貢献していきます。

以上宣言いたします。

平成17年8月2日

べっぷ子ども市議会

第3回「子ども市議会」提言

1. 亀川地区に大型ショッピングセンターを作してほしい。
2. 若者が別府に住み続けたいような温泉と商業が融合した施設を建設してほしい。
3. 別府の自然や文化遺産を保存する街づくりをしてほしい。
4. 安心して登下校できるように通学路に公衆電話を設置してほしい。
5. 子どもたちの安全のため、防犯ブザーの周知と公園等子どもたちがよく遊ぶ場所に警察へ直接通報できるブザーを設置したり登下校時にパトロールをしてほしい。
6. 様々な人たちが集まり、皆でふれあい思いやりの温かさを感じられる場所を作してほしい。そして笑顔に満ちた別府市であってほしい。
7. 鶴見岳一気登山をインターネット等で国内外にアピールし、訪れた観光客に別府の美しい景色を印象づける。
8. 高齢者と子どもが、昔の楽しい遊びを教えてもらったり一緒に遊んだりできる場所があると良いと思う。
9. 野口校区のカーブミラーの整備と富士見通りの横断歩道の青信号の時間を少し長くしてほしい。
10. 地元の人も参加できる大きなお祭りがあれば他県からも多くの人が別府を訪れてくれると思う。
11. 別府の大切な森や林、海を守っていくためにも、自然保護を大事にした町づくりをしてほしい。
12. 学校の机の天板を入学時に新しくしてもらえれば、3年間大切に使いたい。そして自分たちの力で学校施設を改善する努力をしたい。

* 子ども市議会の会議録を別府市議会ホームページに掲載しております。「一般質問」でのやりとりなどはそちらをご覧ください。（<http://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>）

第3回

別府子ども市議会

スナップ集

一般質問



小西めぐみ 議員
(春木川小6年)



大野まや 議員
(東山中3年)



堀 友美 議員
(山の手中3年)



村岡洋樹 議員
(中部中3年)



松木早紀 議員
(上人小6年)



村田憲人 議員
(鶴見台中3年)



飯田麻貴 議員
(東山小6年)



稲村竜大 議員
(大平山小6年)



近藤 壮 議員
(朝日中3年)



大塚衆生 議員
(鶴見小6年)



松川由衣 議員
(北部中3年)



來司優子 議員
(緑丘小6年)



水本枝里 議員
(青山中2年)



浅井里奈 議員
(青山小6年)



中原美夏 議員
(浜脇中3年)



奥迫胡桃 議員
(南小6年)



子ども
宣言

松野 拓 議員
(浜脇中3年)



副議長
西岡拓紀 議員
(北部中3年)



議長
松田翔太郎 議員
(山の手中3年)

提言



田代鷹雄 議員
(亀川小6年)



阿部紀子 議員
(青山中3年)



又江原早紀 議員
(中部中3年)



鈴木麻里 議員
(鶴見台中3年)



豊田純也 議員
(北小6年)



森永圭一朗 議員
(朝日小6年)



後藤健太 議員
(境川小6年)



菅 弦太 議員
(石垣小6年)



田辺ちはる 議員
(野口小6年)



佐藤千聡 議員
(南立石小6年)



岩見英樹 議員
(西小6年)



古庄美里 議員
(朝日中3年)



謝 辞

首藤友香理 議員
(東山中2年)

